

2017年度 日本人間工学会関西支部春季講演会のご案内

日本人間工学会関西支部では、以下の春季講演会を企画いたしました。会員、非会員にかかわらず、広く人間工学分野のご関係者、そしてこれから社会で活躍する学生の方々にも、お誘いあわせの上ご参加いただければ幸いです。なお、本年度の春季講演会につきましては、PIE 研究部会（日本人間工学会研究部会）、大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部と共催です。

講演 1：「不便益研究から見る運転支援システムと自動運転」

講演 2：「免疫指標によるストレス評価 - 健常成人を対象とした疫学研究 -」

[日時] 2018年3月24日（土）
14：00～15：00 第一部 講演会
15：00～16：00 第二部 講演会

※役員の方は、12:00～13:00の会議にご参加ください
※会員の方は、13:00～14:00の関西支部総会にもご参加ください

[会場] 大阪工業大学 OIT 梅田タワー 大阪府大阪市北区茶屋町1番45号
総会・講演会：11階1104教室 役員会議：10階1004教室
<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>
会場はセキュリティゲート内です。1階受付で手続きをお願いします。

[第一部テーマ]

不便益研究から見る運転支援システムと自動運転

[講師]

平岡 敏洋 先生

名古屋大学未来社会創造機構

[講演概要]

不便益（Benefits of Inconvenience）とは、ユーザが敢えて手間をかけることで、タスク達成や能力向上といった客観的な益だけでなく、嬉しさや楽しさといった主観的な益をも得られることを陽に考慮した人間機械系の新しい設計論である。本講演では、最初に不便益の定義や代表事例、さらには不便益系の設計法について説明する。つづいて、我々の身近に存在する代表的な人間機械系の一つである自動車を対象に、運転支援システムと自動運転の有用性や問題点を不便益の観点から考察する。さらに、不便益設計論だけでなく、動機づけの心理学やゲームニクス理論などに基づいて設計された、自発的な行動変容を促す運転支援システムの研究事例について報告する。

[第二部テーマ]

免疫指標によるストレス評価 - 健常成人を対象とした疫学研究 -

[講師]

中田 光紀 先生

国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

[講演概要]

人間工学や心理生理学領域では採血がネックとなり、血液中の免疫指標を用いた研究は少ない。本講演では、免疫指標を使う際の具体的な方法や問題点を解説し、免疫指標のストレス評価への応用、特に現在行っている免疫指標によるストレス評価の大規模な疫学研究の成果を紹介する。

※なお、PIE 研究部会は、「生理計測とデータ解析ノウハウ」と題した成書を 2017 年 3 月に部会編として刊行した。中田先生は「免疫指標」の章の執筆者である。

[参加費]

日本人間工学会会員，PIE 研究部会会員，大阪工業大学教職員・学生等 無料
非会員 ¥500（当日受付にてお支払い下さい）

[懇親会]

講演会終了後に、PIE 研究部会主催の懇親会を開催します。部会員以外の参加も大歓迎です。参加意志のある方は、3月16日までに、下記に連絡してください。詳細情報をお送りします。

mieko.ohsuga@oit.ac.jp (大阪工業大学 大須賀美恵子)